昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2022年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2022年（令和４年）
8月1日月曜日
第1889号

京都自動車新聞

原油高騰対策支援金スタート 2
FAINESはマイクロソフトエッジで 5
京自健保が第146回組合会開く 6
ひと ホンダカーズ京都米澤社長 6
◀京車協が地区部会で講演会など 7

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

次の100年むけ更なる飛躍誓う

京阪バス◇100周年記念式典

京阪バス（鈴木一也社長、京都市南区）は7月20日、創立100周年記念式典を開き、次の100年に向け決意を新たにした。開会あいさつで鈴木社長は人口減少、SDGs（持続可能な開発目標）、ネットワーク社会の実現―を今後の経営課題のキーワードに挙げ、「本日出席された皆さんと連携し、バス会社のこれからを考えていきたい」と決意表明。地域社会との関係をより強めながら更なる発展を目指すことを誓った。

決意表明する鈴木社長

鈴木氏は「本格的な人口減少時代に突入する。公共交通機関にとって将来は更に厳しくなる」との見通しを示した上で、コロナ禍の影響でwebを活用した会議などリモートワークの広がりにより、「人流で仕事をしている会社にとっては厳しい経営環境」と述べるとともに、地域社会とコミュニケーションを深めることの重要性を強調した。

来賓出席した前原誠司衆院議員（京都2区）は、高校生時代に京阪バスで通学したり、大学生の時には添乗員のアルバイトをした経験を披露。自動運転や電気バスに対する取り組みにも触れ、「人口減やコロナ禍、運転士を含めた人材不足―という難しい経営環境の中、さまざまな取り組みにチャレンジする精神は大変素晴らしい。開拓者として更に歴史を刻んでいくと感じている」と祝辞。

伏見隆枚方市長（小山隆副市長代読）、黒田実交野市長、広瀬慶輔寝屋川市長らがお祝いの言葉を寄せたほか、近畿運輸局自動車交通部の後藤孝行次長は「コロナ禍に伴う2年間は利用者減が著しく、更に燃料高騰によるコストアップで厳しい経営環境の下、エッセンシャルワーカー（日常生活の維持に必要な従事者）として運行を継続するだけでなく、自動運転や電気バスといった先を見据えた投資に敬意を表したい。これからも営業エリアの発展に寄与することを期待している」と金井昭彦局長のメッセージを代読した。

MVを初公開

引き続き、創立100周年に向けて作成したミュージックビデオを初公開。交友関係のあるレゲエ歌手のRAYさんが手掛けたもので、京阪バスの魅力が歌詞に織り込まれた内容。「京阪バスが元気になれば関西が元気になるのではないだろうか―という思いを込めてつくった」（RAYさん）。

そのほか、京阪バス未来への取り組みとして、経営企画室の大竹口淳課長およびICT推進部の大久保園明課長が自動運転バスや電気バスなどに対する方向性を説明。

将来を担う若手社員（森本善仁さん、阿部友香さん、顧玉婷さん）が「より安全、より斬新、より便利、誰もがそう感じられる未来を目指して、どんどんチャレンジしていきます！次の100年も共に歩みましょう！これからも地域の皆さまと一緒に頑張ります！」と、中国語、英語、日本語でそれぞれ未来への宣言を行った。

未来への宣言を行う若手社員

最後に鈴木社長は「企業が30年生き残れる確率は0・021％と聞いている。そう考えると京阪バスの100年間は奇跡に近く、本日、ここに集まった皆さんの支援のおかげ。この出会いを大切にし、京阪バスは生き続けていきたい」と締めくくった。

追跡データベース ―東京商工リサーチ編―

倒産数、底打ちの様相

5月 コロナ破綻なお拡大

5月の負債額1千万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比11％増の524件と2カ月連続で前年を上回った。対前月でも2カ月ぶりに増加へと転じ、底打ち感が強まった。このうち京都は23件。東京商工リサーチが6月公表した。

524件全てが中小企業の倒産で、従業員10人未満が全体の88・1％を占めた。産業別では、サービス業が181件と、引き続き10カテゴリー中最多で推移し、3カ月ぶりに前年同月比で増加。運輸業、製造業、卸売業、情報通信業、金融・保険業も増加し、小売業、農・林・漁・鉱業は減少に転じた。このほか2産業は低減状況を保った。

一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、7月5日現在で3821件（負債1千万円未満も含む）に上った。京都はひと月前から11件増え71件。一昨年の秋を境に再び増勢へと転じ、これまでの最多件数に次ぐ水準に達した。

業種別では、飲食業が突出し、建設業、アパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の4業種がこれに続く状況は変わらない。

消費回復への期待は膨らむものの、業績不振の長期化で過剰債務に陥る企業は増加の一途をたどっており、コロナ破綻は当面高水準で推移しそうだ。

産業	倒産件数 5月	倒産件数 前年同月比（増率）
農・林・漁・鉱業	2	▲60.0%
建設業	94	▲1.05%
製造業	63	40.0%
卸売業	62	5.08%
小売業	48	▲9.43%
金融・保険業	6	200.0%
不動産業	14	▲41.66%
運輸業	34	61.9%
情報通信業	20	53.84%
サービス業ほか	181	16.77%
合　計	524	11.01%

EVバスで発電所を見学

京阪バスと関西電力は7月15日、関電蹴上発電所（京都市左京区）の見学会を開いた。2021年12月に導入した電気バスを活用した取り組みの一環。今後、一般消費者向けに電気バスを使った蹴上発電所ツアーの企画も検討する。

京都駅（ザ・サウザンドキョウト前）を出発し、蹴上発電所まで電気バスで移動。鈴木社長は電気バスについて「ディーゼルバスに比べ車体価格は1・3倍だが、エネルギーコストや修繕費、部品などのランニングコストを考慮すると差は無いと思われる」と強調した。

加えて、「京都では、電気バスがどれほどクリーンなのか周知する一方、一般社会へのカーボンニュートラルの意識付けを促していく。大阪は25年の大阪・関西万博を見据えて電気バスを5台導入する予定」と述べた。

蹴上発電所は1891年（明治24年）5月に日本で最初の事業用水力発電所としてオープン。かんでんエンジニアリングのスタッフから発電所の歴史や概要などを聞いた後、1912年（明治45年）に竣工した第2期発電所や36年（昭和11年）に完成した第3期発電所、放水口などを見て回った。

関西電力ソリューション本部開発部門eモビリティ事業グループの道満正徳部長は「京阪バスの洛南営業所に配置されている車両60台が電気バスにシフトしても全台を効率良く充電できるようシステムを改良していきたい」と話した。

8月11日号は休ませていただきます。21日号から通常通り発行致します。
京都自動車新聞社

暑中見舞い 特集号 3・8面

天然由来で安心・安全　除菌抗菌・消臭剤「バクロン」

抗ウイルス機能
優れた抗ウイルス力
抗ウイルス試験において優れた効果を実証

抗菌機能
圧倒的な抗菌力
複合アミノ酸と天然植物抽出液で、強力な抗菌力を持ち、室内空間を清潔に保ちます。

消臭機能
強力な消臭効果
強い浸透力で染み込んだ匂いにも消臭力を発揮。タバコ、ゴミ、トイレなど生活空間の悪臭を除去。

安心・安全
確かな安全性
天然由来原料を主成分とし、皮膚一次刺激性試験及び、経口毒性試験においても、高い安全性が証明されています。

株式会社大黒商会
本社／京都市右京区西院平町１０番地　TEL 075-311-0141　FAX 075-312-4544
営業所／南・亀岡・奈良・彦根・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢
お問い合わせは、自動車部品部まで